

特別名勝栗林公園 情報

栗林公園開園 150 周年記念行事

特別名勝栗林公園の開園 150 周年を記念して、企画展を開催します。

藩政時代に描かれた古図や、明治終わりから大正、昭和、平成に撮影された写真などを通して、時代の流れとともに変化する「一步一景」をご鑑賞ください。

かつて、北庭改修(M44年～T2年)の設計を担当した市川之雄氏(当時、宮内省内苑寮技師)は、当時の知事への報告書の中で次のように述べています。

『元来、^{ゆうすい}幽邃(景色が奥深く静かなこと)の景致は、一朝で作り出せるものでなく、設計の妙と年代の久しきことが相まって成立する』

「木石の雅趣」に優れた庭園内の散策とともに、企画展会場におきまして、時空散歩しながら、設計の妙と時間が創造した庭園美を体感してください。

過去を知り、未来へと、“大名庭園の極み”といえる栗林公園をつなぎましょう。

Timeless Stroll in Ritsurin Garden 栗林公園 時空散歩

— 時代をつなぐ古図・写真展 —

A Historical Map and Photo Exhibition

3月19日(水)から 3月27日(木)まで

8:30am~5:00pm

商工奨励館北館



大正2(1913)年頃



大正 13(1924)年頃

北庭改修直後の大正2年、鶴亀松の西側の黒松はまだ小さく、鶴亀松も枝張りが控えめです。当時、ヒマラヤ杉は2本あったことがうかがえます。

